

人材力活性化研究会の休止について

人材力活性化研究会（以下「人材研」という。）は、地域活性化の基本的な要素である人材力の強化を図るため、平成 22 年 6 月に発足しました。人材研では、これまでに「人材力活性化プログラム」、「地域づくり活動のリーダー育成のためのカリキュラム」、「地域づくり人育成ハンドブック」を作成しており、これらは、人材力の強化・活性化に取り組む多くの団体や地方公共団体職員の指針として活用されてきました。

また、人材研構成員が中心的講師陣となって開催されている「全国地域づくり人財塾」では、今年度末で全国に 2,330 名の修了生を輩出し、地域づくり人材の拡大に寄与しています。

現在、少子高齢化や人口減少への対応、地域の特性を活かした地方創生の実践など、地域を取り巻く課題が一層大きくかつ多岐にわたるものとなっており、地域で活躍する人材をいかに育成・確保していくかを研究し、新たな施策の展開を検討していくことも重要となっています。

次年度以降においては「全国地域づくり人財塾」を引き続き開催する一方、人材研発足から 10 年が経過するのを機に、人材研を休止し、地域で活動する人材の育成・確保に係る課題の整理、効果的な育成手法やカリキュラム、行政や地域 N P O 等の役割などについて、調査・研究することとしております。